



ごあいさつ

昨年、中国を訪問しました。外事弁公室の方々をはじめ、そこで出会った人たちは、真摯に私たちと向き合い、誠意ある対応をしてくださいました。特に学校での「熱烈歓迎」には頭の下がる思いでした。

現在、国家間の問題は様々で解決が難しいものが多くあります。私たちの国々に対するイメージは、テレビや新聞等の

ごあいさつ

ZNIMMI

国際交流だより

Vol.12

発行：新見市国際交流協会 広報委員会
岡山県新見市新見310-3 〒718-8501
TEL0867-72-6204 FAX 0867-72-3602

2019年3月発行

メディアによるところが大きいと考えます。好感の持てる国ばかりではないと思いますが、私の経験では、訪れたどの国の人もやさしく親切でした。

国際交流を行うことで、外国人に接して、優しきや長所を感じとり親密感を抱くことができます。その国の歴史に出会い、習慣や文化の違いに触れることで、国民性や考え方を理解しやすくなります。

草の根交流を続けていくことにより、お互いの違いを認め合う心と平和に対する礎が醸成されていくと思います。それぞれの国の実情を理解し、政策を認めた上で違いを埋める接点を見つけていくことが、条約や宣言に発展していくと考えられます。若い人たちになるべくたくさんの交流の機会を提供できる活動にしていきたいと思えます。今後とも会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。(会長 米澤正治)

南の島(サモア)での様子



動物生産衛生課サバイ島支所の近くの草地において、口ブで繋いで飼育されている若い牛の写真です。



平成30年度 総会・講演会

6月25日、新見公立大学学術交流センターで、平成30年度の総会・講演会を開催しました。

総会に先立ち、JICAシニアボランティアとして、サモア・サバイ島サレロガに派遣されていた、中村行雄さんを講師にお迎えし、「南の島(サ



中村さんが住んでおられた家の敷地内にあるファレ(壁の無い家)の写真です。海に張り出したウッドデッキの木陰にハンモックを吊るして飲むビールは格別だったそうです。



支所職員の方とのクリスマスの写真です。



等が原案のとおり承認されました。(事務局)

にしみ国際交流 バスツアーに参加して



今回は紙すき体験とりんご狩りという企画でした。紙すきは、経験がなかったので、迷わず応募しました。

当日は好天に恵まれ、絶好の行楽日和でした。最初に、親子孫水車のある夢すき公園で紙すきを行いました。まず、和紙の原料であるみつまたを溶かした液の中に、網のついた木枠を入れ、ゆっくり揺らしながら持ち上げます。水分を取った後、和紙の上に木の葉を乗せ、上から液をかけて乾燥させます。乾いた後、団扇や色紙の上

に糊づけして完成です。個性ある作品のでき映えに、みんな大満足の様子でした。外に出ると紅葉が美しく、和やかな雰囲気の中で写真を撮りました。

御殿町センターでの昼食の後、恒例の御殿町散策を行いま



- 9:30 新見市役所 出発
- 10:00 夢すき公園 紙すき体験
- 12:00 御殿町センター 昼食・御殿町散策
- 14:30 大原観光果樹園 りんご狩り
- 16:30 新見市役所 到着
- スケジュール



した。ボランティアの方々熱心なご案内には、いつも頭が下がります。

最後は、大原観光果樹園でのりんご狩りでした。今回はご厚意により、梨狩りも体験できました。みんな大喜びで、りん



ごと梨をお口いっぱい頬張っていました。

帰りの車中では、グループ対抗のクイズ大会で大いに盛り上がり、楽しい一日でした。

日頃は、外国の方々と会話をする機会があまりありません。ツアーに参加すると、楽しみながら国際交流ができるので、大変素晴らしい企画だと思えます。次回も是非参加したいと思います。(今永恵子)

●編集後記

大寒の頃になると、必ずテレビで放映されるのが長野県の地獄谷温泉に浸かるニホンザルの群れです。野生の猿が温泉に入るのは、世界でもここだけとあって、インターネット上のSNSで知ったという多くの外国人観光客が押し寄せて見学するようになりました。

この時季に喜んでいるのは猿ばかりでなく、こうした外国人観光客をもてなす商店街の人たちです。ある老舗のそば屋で働いている70歳代の女性は「外国のお客さんを相手にして言葉には困りませんか?」と聞かれて、「心を開いて笑顔でもてなしすれば、すぐ気持ち通じて何も困ることはありません。」とあっさりと答えていました。

これから日本へは東京オリピックや大阪万国博覧会などを機会に、さらに多くの外国人の人たちが訪れ、身近に接することになります。この時私たちは万国に通じるこの女性の「おもてなし」を実行していきたいものです。

広報委員長 妹尾良和



非常幸得到个得的机会，可以与大家交流中文文化。

期可能有很多不足的地方，但大家都非常的容。次都很真的来听座，使我有更大的信心，努力去找方法，把中文用易的方式教大家。

九次座，一次料理交流会。期，我感受到大家中文的，我非常感。在和感中完美的束了次非常美好的，我想会是我大学生活中最忘的一次体。

最后非常感所有参与到次座的一位。希望大家心一天。



私は、中国語でみなさんと交流する貴重な機会をもてたことを非常に光栄に思います。

この期間には多くの力不足であった点がありますが、みなさんが非常に寛容でした。毎回みなさんが講義に真剣に取り組んでいたため、私は自信をもつことができ、よりわかりやすく中国語を教える方法を考えました。

9回の講義と1回の料理交流会。中国語を教えている間、私はみなさんが中国語を愛していると感じました。私はとても感動しています。

今回の講義は緊張しましたが、非常に素晴らしい経験で終わりました。これは私の大学生活の中で最も記憶に残る経験になると思います。

最後に、この講義に参加してくれたすべての人にとっても感謝しています。

みなさんが毎日幸せであることを願っています。

講師：閔琪(エン キ)

10月から12月まで2か月間にわたって、毎週木曜日に計10回の中国語講座が行われました。講師は吉備国際大学の学生である閔琪さんです。私が中国語講座を学ぼうと思ったのは、以前より外国語にとっても関心があり、英語以外の言語に触れてみたいと思ったからです。中国語講座に参加して初めて中国語に触れたので

中国語講座を受講して

すが、発音や文法が日本語とは違い、わからない部分が多々あり、先生が丁寧に教えてくださいました。

最後の講座では、中国料理と一緒に作ることで、中国の文化を知ることができました。中国語を学ぶことができて外国語への関心がとても深まりました。これから、講座で学んだことを活かして、中国語の勉強をしていきたいと思っています。

(田中夢穂)



英語講座を受講して

English Salon is an English exchange class held once a week at Niimi College. It is a great place to hear native English and to try speaking it as well. Participants are asked to read a small article before coming to class. ALT's give short presentations to help tie the article to the discussion for the class.

This was my second year participating and I had so much fun! We had a huge turnout this year with many college students participating as well. It is a very relaxing environment where people are free to ask as many questions as they would like. Yamauchi sensei also gives great translations throughout the class so that everyone is on the same page.

From my perspective, I think this class is so great because it allows those with a passion for English to have a place where they can grow and develop their English speaking abilities. I highly recommend it for anyone wanting to have some fun and get to know the ALT's living here!

秋に、毎週、新見大学でイングリッシュサロン(英会話教室)が開催されています。ネイティブの英語を聞いたり、話したりするのに良い機会となっています。受講者は授業前に、短い記事を読んで参加します。ALTはパワーポイントで記事について詳しく説明し、ディスカッションへとつなげます。



今年度は私が参加して2年目になりますが、とても楽しかったです。去年に比べて、多くの大学生が加わり、参加者が増えました。参加者はリラックスした環境で、自由に質問もできる雰囲気です。山内先生はわかりやすく英語を訳してくれるので、みなさん同じように理解できます。

私にとって、この授業は本当に良いと思います。英語に興味をもっている方たちが、英会話の力を上達させることができるからです。何か新しいことに出会いたい方、新見のALTと知り合いになりたい方におすすめです。

(マリア イマヤマ)

恒例の英語講座が、今回も10月から12月にかけて10回開催されました。講師は、新見公立大学の山内圭教授と市内勤務のALT、そして市内在住のティムさん。私と同級生F君は、常連の受講生でたぶん最年長でしょう。2人とも実力不足で講義内容を理解できないところも多いが、ALTやティムさんと会話できるのが楽しくて毎年参加しています。10年位前は、受講生も10人以下の日が多かったが、近年は大盛況で、

今回もALTが10人前後、受講生も20人前後出席しました。講座は配布されたテキストにある英語小論文について各自が家で予習し、質問があればALTから回答がありました。その後担当ALTから当日のテーマについてプレゼンがあり、受講生は小グループに分かれ各自が意見を出し、各グループ配置のALTが出た意見を発表する形で進められました。講師の方々の献身的な取り組みに感謝いたします。(早瀬正弘)

「青椒肉絲」の他、できあがったものは「宮保鶏丁」と「餛飩」です。みんなが作った中国料理を



2018年12月6日に初めて中国料理交流会に参加しました。中国とインドネシアからの留学生が、講師として高梁市からいらつしやいました。メニューは3つで、2つのグループは同じものを作りました。私のグループが作ったのは「チンジャオロース」。日本語で言う鶏肉とピーマンの炒め物です。レシピは簡単そうに見えましたが、できあがったものをみんなに食べてもらうのでメンバーのみんなは慎重で、リ先生が言ったとおりに動きました。そのおかげで、料理が順調にできて片付けも丁寧にできました。

中国料理交流会



12月11日に新見市地域福祉センターにてALT交流会が開催され、ALT8名と英語講座の参加者や協会員など全部で26名の方が参加しました。アメリカ班の山内班長による開会の挨拶に始まり、たくさんのお料理をバイキング形式でいただきながら、アメリカ出身の二人のALTの先生から故郷での生活の様子が紹介されました。ニコル先生は五大湖西岸に位置するウイスコンシン州出身で、ミシシッピ川が流れており、日常的に川辺でレジャーを楽しむ様子が印象的でした。ブライアン先生の出身地ロサンゼ

ALT交流会



英語講座でなかなかお話しできなかった人たちとも交流でき、みんな楽しんで時間を共有できて、また次回も参加したいと思いました。(荒木志野)



みんなと一緒に食べました。作っている間におしゃべりする余裕もなく、食事の時間を使ってお客さんと、ゆつくりお話ができました。料理はもちろん、皆さんの話を聞かせていただいて、パワーをもらいました。今回の料理交流会に参加できて本当によかったです。次回の料理交流も楽しみにしています。(Marisutei Miguel(ALT))

